

J-0 人工呼吸管理におけるコメディカルの役割 — 専門性と協調性 —

人工呼吸管理、コメディカル、専門性と
協調性

和歌山県立医科大学高度集中治療センター
○篠崎正博

人工呼吸の患者管理は、人工呼吸器という生命維持装置を装着しており、呼吸管理が最も重要であるが、循環、代謝、栄養、精神管理などの全身管理も必要である。ゆえに、人工呼吸を必要とする患者は 24 時間の看護およびモニタリングシステムなどの全身管理も必要であり、ICU で管理されてきた。

ICU では主に医師および看護婦による呼吸管理が行われていたが、高度な先端技術を用いた人工呼吸器をはじめとした治療およびモニタ機器が ICU に配置されるに伴い、臨床工学技士による専門的な知識および技術が提供されるようになり、また呼吸理学療法に関しては、理学療法士の参画などに伴い、チーム結成による呼吸管理が行われる施設が増加してきた。しかしながら、ICU でのコメディカルのチーム医療の中心は、現在でも 24 時間患者管理に携わっている看護婦が主体である。

最近、在宅人工呼吸が普及し、その患者数は増大しているが、患者管理体制はまだ確立していない。在宅人工呼吸管理においては、患者家族が主な呼吸管理の担い手である。コメディカルによるチームによる支援体制が必要であり、24 時の呼吸管理体制を臨床工学技士を中心とし、派遣看護婦、理学療法士、保健婦などによるコメディカル医療チームの結成が重要となってきている。